

点検結果報告書（平成22年度実績版）の「総括」（案）に対する意見等について

※ 「総括」（案）に対する追加・修正要望箇所を下線

事業名	整理No	箇所	総括（案）	意見、追加・修正要望	対応案
1 水源の森林づくり事業の推進 (P1-10) (P1-11)	1	(1)16行目	○ 「水源林整備事業にシカの保護管理をバランスをとりながら連動させて行うことが重要かつ効果的であり、～」	・ これを推し進めれば植生保護柵はいらないことになるのではないか。植生保護柵はその地域の草本の見本、もしくはシカが食べなければこんな風になるとの見本なのかという疑問が湧く。植生保護柵を設置する理由と今後の展開を明確にする必要があると思う。（意見）	反映済み（P1-11の1行目に記載有り）
	2	(2)3行目	○ 「平成22年度までに森林体験コースで延べ58人、演習林実習コースで延べ32人が修了し、22人の就職者を輩出したことは評価できる。」	・ 延べ32人が修了し、22人就職者が出たことは評価できることなのか。何か別の理由で就職出来なかったのか。（意見）	反映（意見を踏まえ次のとおり修正「～延べ32人が修了し、平成22年度は就職希望者全員（13人）が就職するなど、平成22年度までに22人の就職者を輩出したことは評価できる。」）
	3	(2)	○ 【森林塾関連意見】	・ 県民会議委員等の意見を吸い上げての「かながわ森林塾」開講は、林業労働者の量的確保面で効果は大きいですが、就業者の経済的な底上げを図る施策に取り組むべき。（意見）	※水源環境保全・再生施策では対応が困難であるため、点検結果報告書には記載しないが、担当課（森林再生課）に対し意見内容を伝える。
2 丹沢大山の保全・再生対策 (P2-11)	4	(4)	○ 【ブナ林再生関連意見】	・ ブナ林の再生は水源環境保全・再生事業のシンボリックな事業として取組の強化を実施すべき。（意見）	反映済み（意見の趣旨はP2-11の(4)に記載済み）
4 間伐材の搬出促進 (P4-4)	5	1行目	○ 「5か年計画における平成22年度までの4年間の事業量の目標（4年間で段階的に増加）に対し、89%の進捗率となっており、搬出促進が課題である。」	・ 搬出促進が課題とのことだが、具体的にどの様にしていくべきか施策の計画を向上すべき。（意見）	反映済み（P4-4の総括本文3行目に記載済み）

※ 事業名の下に記載の（○-○）は、点検結果報告書における該当ページを示したものの。

事業名	整理№	箇所	総括（案）	意見、追加・修正要望	対応案
5 地域水源林整備の支援 (P5-5)	6	2行目	○ 「5か年計画の目標事業量に対し、～（中略）～、計画量の精査が必要である。」	・ 地域水源林整備が事業量等の計画と実績に対して点検・評価を県民会議として重点的に対処していき事業の適正化を目指すべき。（意見）	反映済み（P13-3の(3)の課題の3つ目の・（ポツ）1行目に趣旨を記載済み）
6 河川・水路における自然浄化対策の推進 (P6-6) (P6-7)	7	2行目	○ 「～短期的な効果を目指す直接浄化対策がある。」	・ 「 <u>比較的</u> 短期的な効果を目指す直接浄化対策がある。」（追加要望）	反映（「～河川・水路等の整備と、 <u>それと比較し</u> 短期的な効果を目指す～」）
	8	7行目	○ 「～、対策の必要性、期待する浄化効果、浄化対策法の選定等について～」	・ 「～、 <u>選定河川・水路での</u> 対策の必要性、期待する浄化効果、浄化対策法の選定等について～」（追加要望）	反映
	9	10行目	○ 「今後は、市や町に、どのようなプラン及び仕組みで水質浄化に寄与するのかを～」	・ 「今後は、市や町に、どのようなプラン及び仕組みで <u>水源河川・水路の水質浄化</u> に寄与するのかを～」（追加要望）	反映
	10	11行目、14行目	○ 「生活排水等」	・ 「生活雑排水等」（追加要望）	反映
	11	17行目	○ 「～、原因の調査まで踏み込んで行うことが必要である。」	・ 「～、 <u>汚濁原因</u> の調査まで踏み込んで行うことが必要である。」（追加要望）	反映
	12	個別意見 1つ目の・ 1行目	○ 「水源環境保全・再生の目でみると、当該事業の効果に疑問を感じる。」	・ 「水源環境保全・再生の <u>視点</u> でみると、 <u>これまで実施された当該事業</u> の効果に疑問を感じる事業もある。」（追加・修正要望）	反映（個別意見）
12 県民参加による仕組づくり (P12-11)	13	(1) 7行目	○ 「事業モニターによる県民目線の点検評価と事業の進捗状況から見た客観的評価との有機的な連携についても、今後の検討課題である。」	・ 表現が難しいので分かりやすく書けないか。（修正要望）	反映（「～客観的評価において、相互に密接な連携を図っていくことも、今後の検討課題である。」）

事業名	整理№	箇所	総括（案）	意見、追加・修正要望	対応案
12 県民参加による仕組みづくり（つづき）	14	(1)	○ 【事業モニターの取組み関連意見】	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年度に県民会議で定めた新方式を活用して、事業に対して県民目線の強化を図るべき。（意見） 	反映済み（P12-11の(1)5行目に記載有り）
	15	(2)4行目	○ 「県民会議の提案により平成20年度から開始した市民事業支援補助金については、～（中略）～、今後、市民レベルによる水源環境保全・再生の取組が広がることが期待される。」	<ul style="list-style-type: none"> 「県民会議の提案により平成20年度から開始した市民事業支援補助金については、～（中略）～、今後、市民レベルによる水源環境保全・再生の取組が広がることが期待される。<u>関係団体や活動グループへの幅広い周知徹底を切に望む。</u>」（追加要望） 	反映（「～期待されることから、 <u>関係団体や活動グループへの幅広い周知徹底を図る必要がある。</u> 」）
	16	(3)	○ 【県民フォーラム関連意見】	<ul style="list-style-type: none"> ミニフォーラムを実施して顔がよく見え、意見が出しやすい方式を検討してほしい。（意見） 	※点検結果報告書には記載しないが、H23年度の情報提供WGの意見として、第3期県民会議への引継書に記載する。
全体の総括（P13-3）	17	(2)の最後	○ 【追加】	<ul style="list-style-type: none"> 「<u>12の個別事業のそれぞれの結果について、その相互の関連性を調べて、そして総合的な成果を評価・統合する手続きが次に必要になっている。</u>」（追加要望） 	反映（個別意見）